

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



共同受信用ブースター

前置ブースター用給電スイッチ付
電源内蔵形 屋内用

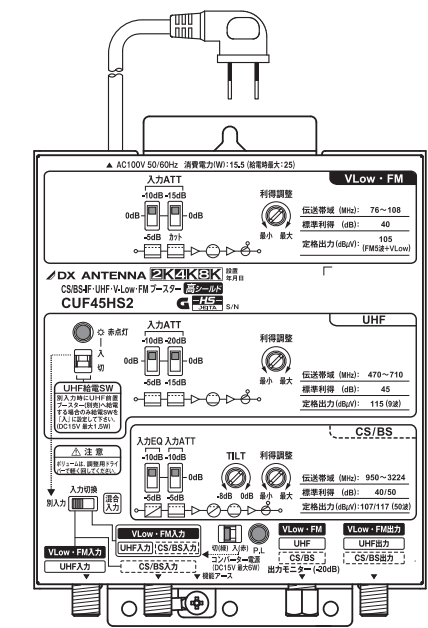
—CS/BS-IF・UHF・V-Low・FMブースター（高出力形）—



V-Low・FM 76～108MHz、UHF 470～710MHz、
CS/BS-IF 950～3224MHz増幅用

CUF45HS2 UHF45dB形

4K8K衛星放送に対応
すべての2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応しています。



付属品

- 木ネジ(4.1×16mm) 3本 CUF45HS2 C50HS2
- F-5接続(リング付) 3個 CUF45HS2

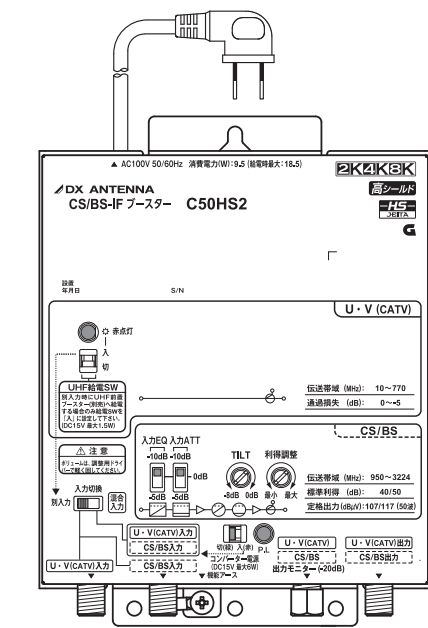
—CS/BS-IFブースター（高出力形）—



CS/BS-IF 950～3224MHz増幅用

C50HS2 CS/BS50dB形

4K8K衛星放送に対応
すべての2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応しています。



使用上のご注意

- スイッチを切り換える場合、切換操作を数回行い、スイッチ接点部の活性化(クリーニング)をしてください。長期間操作をしないと接点部に酸化膜が発生し、接触不良の原因になります。
- 出力モニターは、出力端子レベルから20dB低いレベルを出力しますが、出力端子にケーブルが接続されていないと正確なレベルを出力しません。より正確なレベル測定を行う場合、出力端子を使用してください。
- 本製品を落としたり、ぶつけたりしないよう注意してください。
- 天井や熱のこもる場所への取り付けはしないでください。必ず入出力端子が下向きになるように本製品を取り付けてください。他の方向に取り付けると放熱効果が失われ、性能が維持できなくなる場合があります。
- 放熱性に富むアルミ合金製シャーシを採用していますので、筐体が熱を持ちますが異常ではありません。
- 正常な動作を確認するために、定期的な点検を実施してください。

製品に関する
お困りごとを解決!

Dサポ!
DXアンテナ サポートポータル

スマートフォンで
各種設定方法が
わかる➡

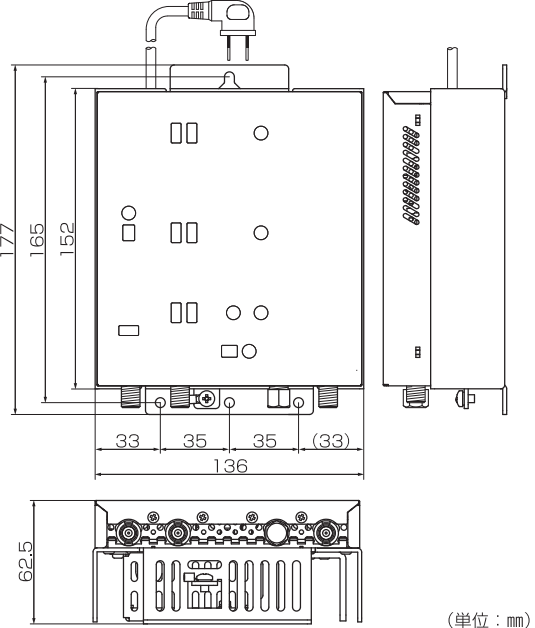
ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。
QRコードからアクセスしてください。

[1003]

※本製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

外形寸法図

寸法は CUF45HS2 C50HS2 共通です。
(下記外観形状は CUF45HS2 です)



保証書

■保証期間	保証期間 1年間
製品の保証書または購入日が確認できる購入証明書(レシート、納品書など)に記載されている購入日より1年間、本製品を本規定に従い無償修理をすることを保証いたします。※消耗品は除く	

■無償修理
保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。

- 適用の除外
- 次のような場合には保証期間中でも有償修理となります。
- ①ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、噴火、洪水、津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争、暴動による破壊行為、公害、損害、ガス害または、ねずみや鼠、鳥などの動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
 - ④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷。
 - ⑥製品の保証書または購入日が確認できる購入証明書(レシート、納品書など)を提示、添付されていない場合。
 - ⑦保証書にお買い上げ年月日、お買い求めの販売店の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。

お 買 上 年 月 日	ご購入先	ご住所・ご店名
年 月 日	販売店	電話() -

カスタマーセンター 0570-033-083

※全国一律料金でご利用いただけます。
※携帯電話からもご利用いただけます。
※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

■受付時間 9:30～17:00(夏季・年末年始休業は除く)
■一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合: 050-3818-9016

DXアンテナ株式会社
6147-2

ホームページアドレス
https://www.dxantenna.co.jp/

(1908)

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	一般的な 注意事項		機器の 分解禁止		水ぬれ禁止		接触禁止		一般的な 禁止事項		抜き取り指示		指示を守る
--	--------------	---	-------------	---	-------	---	------	---	--------------	---	--------	---	-------

 警告 誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの

異常があるときは、すぐに使用をやめる
煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用しない
火災や感電の原因となります。すぐに電源コードをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店・カスタマーセンターにご相談ください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災や感電の原因となります。

電源プラグは、コンセントの根元までしっかりと差し込む
ゴミやほこりが付着しているときは拭き取ってください。
火災の原因となります。

電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを触らない
感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、製品には触れない
感電の原因となります。

同軸ケーブルを傷つけない
本製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがあります。接続や接栓の加工などで心線と編組を接触させたり、同軸ケーブルを傷つけないようにしてください。
火災や感電の原因となります。

電源コードや同軸ケーブルを接続した状態で移動しない
接続した状態で移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

ケースが破損した場合は、電源コードや同軸ケーブルを抜く
本製品から電源コードや同軸ケーブルを抜いて、販売店・カスタマーセンターにご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

製品にテーブルクロスやカーテンなどの燃えやすいものを掛けたり、じゅうたんや布団のうえに置かない
熱がこもり、火災の原因となります。

製品を分解・改造しない
感電やけがの原因となります。また、製品の性能が維持できなくなり、故障の原因となります。



指示を守る



禁止



指示を守る



抜き取り指示



接触禁止



接触禁止



禁止



禁止



抜き取り指示



禁止



分解禁止

製品内部に水などが入った場合や、落として破損した場合は、すぐに接続している電源コードを抜く
万一、落としたり、内部に水などが入った場合は、まず本製品に接続している電源コードをコンセントから抜いて、販売店・カスタマーセンターにご相談ください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



抜き取り指示

本製品は屋内専用です
以下の環境に設置しない
火災や感電などの事故の原因となります。
・風通しの悪い場所
・屋外、風呂場・洗い場など水がかかる場所
・エアコンの吹き出し口の水が滴り落ちる場所
・湿気やほこりの多い場所
・直射日光の当たる場所
・放熱機能のないボックス内
・調理台や加湿器のそばなど高温になる場所
・油煙や湯気があたる場所



禁止



水ぬれ禁止

以下の場所に設置しない
落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
・強度の弱い場所
・不安定な場所
・ぐらついたり振動したりする場所
・傾いた場所



禁止

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づける)しない
火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだとき(心線の露出、断線など)はお買い上げの販売店・工事店にご相談ください。



禁止

通風孔をふさいだり、製品内部に異物などを差し込まない
通風孔をふさいだり、製品の内部に金属類や燃えやすいものなどを差込んだりしないでください。
火災や感電の原因となります。



禁止

取り付けネジや接栓の締付け力(トルク)に指定がある場合は、その力(トルク)で締め付け、固定する
落ちたり、破損したりして、けがや故障の原因となります。



締付け指示

接地する
引っ張り強さ0.39N以上の金属線、または直径1.6mmの軟銅線で接地してください。接地しないとき避雷やシールドの効果が下がり、感電や故障の原因となります。



接続指示

 注意 誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害の発生に結びつく可能性があるもの

テレビ受信工事には技術経験が必要です
アンテナ関連の設置や配線、接続、調整、移設、撤去については、販売店・工事店にご相談ください。



注意

AMラジオから1.5m以上離して使用する
AMラジオの近くで使用するとうラジオ音声にノイズが入る場合があります。



注意

規格特性

品 名 / 型 番		CS/BS-IF・UHF・V-Low・FMブースター/CUF45HS2		
使 用 帯 域		V-Low・FM	UHF	CS/BS-IF
周 波 数 帯 域 (MHz)		76～108	470～710	950～3224
入 力 レ ベ ル 範 囲 (dBμV)		44～90 (注1)	44～100 (注2)	44～77 (注3)
標 準 利 得 (dB)		40	45	40/45/50(950/2150/3224MHz)
定 格 出 力 レ ベ ル (dBμV)		105(FM5波+V-Low)	115(9波)	107/112/117(950/2150/3224MHz)
入 力 A T T (dB)		0、-5/-10、-15/カット(注4)	0、-5/-10、-15/-20 (注4)	0、-5/-10 (スイッチ切換式)
入 力 E Q (dB)		—	—	0、-5/-10 (スイッチ切換式) (950MHz) (注5)
利 得 調 整 範 囲 (dB)		0～-10以上 (連続可変)		
T I L T (dB)		—	—	0～-8以上 (連続可変) (注5)
帯 域 内 周 波 数 特 性 (注6) (dB)		±1.5以内	±2.0以内	任意の34.5MHzで±1.0以内、 チルト直線に対し全帯域で±2.5以内
雑 音 指 数 (注6) (dB)		5以下	4以下	10以下
入出力インピーダンス (Ω)		75(F形)		
V S W R (注6)		2.5以下		
相 互 変 調 (I M 3) (注6) (dB)		-72以下	-71以下	—
C I N (注6) (dB)		—	—	-22以下
利 得 安 定 度 (dB)		±1.0以内	±1.5以内	±2.0以内
出 力 モ ニ タ ー (dB)		-20		
耐 衝 撃 波		入出力端子・電源端子 JEC : ±25kV(1.2/50μs)、IEC : ±15kV、±1.5kA(1.2/50-80/20μs コンビネーション)		
直 流 供 給 電 源		—	DC15V / 1.5W	DC15V / 6W
電 源 / 消 費 電 力		AC100V(50/60Hz) / 15.5W、UHF給電時17.5W、CS/BS給電時23W、UHF+CS/BS給電時25W		
使 用 温 度 範 囲 (℃)		-10～+40		
漏 洩 電 界 強 度 (dBμV/m)		34以下		40.2以下
外 形 寸 法 (mm)		177(H) × 136(W) × 62.5(D)		
質 量 (kg)		1.0		

品 名 / 型 番		CS/BS-IFブースター/C50HS2	
使 用 帯 域		UHF・V-Low・FM (CATV)	CS/BS-IF
周 波 数 帯 域 (MHz)		10～770	950～3224
入 力 レ ベ ル 範 囲 (dBμV)		—	44～77(注3)
標 準 利 得 (dB)		0～-5	40/45/50(950/2150/3224MHz)
定 格 出 力 レ ベ ル (dBμV)		—	107/112/117(950/2150/3224MHz)
入 力 A T T (dB)		—	0、-5/-10 (スイッチ切換式)
入 力 E Q (dB)		—	0、-5/-10 (スイッチ切換式) (950MHz) (注5)
利 得 調 整 範 囲 (dB)		—	0～-10以上 (連続可変)
T I L T (dB)		—	0～-8以上 (連続可変) (注5)
帯 域 内 周 波 数 特 性 (注6) (dB)		—	任意の34.5MHzで±1.0以内、 チルト直線に対し全帯域で±2.5以内
雑 音 指 数 (注6) (dB)		—	10以下
入出力インピーダンス (Ω)		75(F形)	
V S W R (注6)		2.5以下	
C I N (注6) (dB)		—	-22以下
利 得 安 定 度 (注6) (dB)		—	±2.0以内
出 力 モ ニ タ ー (dB)		-20	
耐 衝 撃 波		入出力端子・電源端子 JEC : ±25kV(1.2/50μs)、IEC : ±15kV、±1.5kA(1.2/50-80/20μs コンビネーション)	
直 流 供 給 電 源		DC15V / 1.5W	
電 源 / 消 費 電 力		AC100V(50/60Hz) / 9.5W、UHF給電時11W、CS/BS給電時16.5W、UHF+CS/BS給電時18.5W	
使 用 温 度 範 囲 (℃)		-10～+40	
漏 洩 電 界 強 度 (dBμV/m)		—	40.2以下
外 形 寸 法 (mm)		177(H) × 136(W) × 62.5(D)	
質 量 (kg)		0.9	

(注1)入力ATTスイッチを「-25dB」にした時の最大入力レベル (注2)入力ATTスイッチを「-30dB」にした時の最大入力レベル (注3)入力ATTスイッチを「-10dB」にした時の最大入力レベル (注4)加算式
(注5)3224MHz基準 (注6)利得最大時 仕様は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

2K4K8K 2K・4K・8K 放送対応マークは、BS-110度 CS 2K・4K・8K 放送 (3224MHz) に対応した機器であることを示します。

高シールド 高シールドマークは、携帯電話や各種無線サービスなどとの電波干渉を抑制するため、厳しい社内基準を基にシールド性を高めた製品であることを示します。

HS JETA HS マーク (ハイシールドマーク) は、一般社団法人 電子情報技術産業協会 で審査・登録され、衛星テレビジョン放送の中間周波数帯域において、一定以上の遮へい性能を有する機器に付与されるシンボルマークです。

各部の名称

※下図スイッチ位置は出荷時の設定です。出荷時のボリューム位置は最小側です。(イラスト: CUF45HS2)

V-Low・FM

入力ATTスイッチ

0、-5/-10、-15dB(加算式)、またはカットを選択できます。使用しない場合、カットすることで消費電力の低減が可能です。(⇒④参照)

※各スイッチおよびボリュームは調整用ドライバー(小形)で軽く操作してください。
※各スイッチは「カチッ」となるまで動かしてください。
※BS:110度CS 4K・8K放送(3224MHz)のレベル確認の際は4K・8K放送に対応したケーブル・コネクタを使用してください。

V-Low・FM

利得調整ボリューム

0dBから-10dBまで連続で調整できます。(⇒⑥参照)

UHF

入力ATTスイッチ

0、-5/-10、-15/-20dB(加算式)を選択できます。(⇒④参照)

利得調整ボリューム

0dBから-10dBまで連続で調整できます。(⇒⑥参照)

CS/BS

TILTボリューム

出力レベルの傾斜を0から-8dBまで連続で調整できます。(⇒⑤参照)

利得調整ボリューム

0から-10dBまで連続で調整できます。(⇒⑥参照)

P.L(コンバーター通電確認ランプ)
電源投入時
コンバーター電源「切」:緑色点灯
コンバーター電源「入」:赤色点灯

(注) 出力モニター端子を使用しない場合は、付属のモニターキャップを必ず取り付けてください。
締め付けトルク: 2N・m

UHF (C50HS2):U-V(CATV)

通電確認ランプ

給電スイッチ

「入」にすると前置ブースターにDC15Vが供給され、通電確認ランプが点灯します。(⇒②参照)

CS/BS

入力EQスイッチ

0、-5/-10dBを選択できます。(⇒③参照)

入力ATTスイッチ

0、-5/-10dB(スイッチ切換式)を選択できます。(⇒④参照)

入力切換スイッチ

CS/BS信号とUHF-V-Low・FM信号を別入力もしくは、混合入力に切換えることができます。(⇒①参照)

コンバーター電源スイッチ

「入」にするとDC15Vが供給され、コンバーター通電確認ランプが赤色に点灯します。(⇒②参照)

接続端子

●入力切換スイッチ: 別入力の場合

V-Low・FM入力端子 UHF入力端子

前置ブースター用電源出力端子として、DC15Vを重畳して給電できます。

●入力切換スイッチ: 混合入力の場合

この端子は使用しません。

V-Low・FM出力モニター端子 出力レベルの-20dBが出力されます。

UHF出力モニター端子 CS/BS出力モニター端子

●入力切換スイッチ: 別入力の場合

U-V(CATV)入力端子

前置ブースター用電源出力端子として、DC15Vを重畳して給電できます。

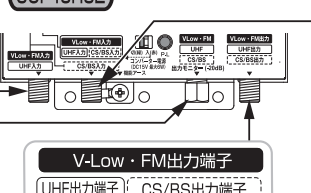
●入力切換スイッチ: 混合入力の場合

この端子は使用しません。

U-V(CATV)出力モニター端子 出力レベルの-20dBが出力されます。

CS/BS出力モニター端子

CUF45HS2



●入力切換スイッチ: 別入力の場合※1

CS/BS入力端子

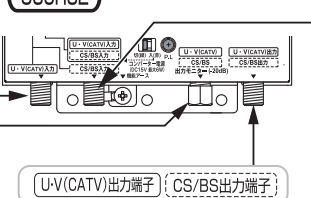
●入力切換スイッチ: 混合入力の場合※1

V-Low・FM入力端子

UHF入力端子 CS/BS入力端子

※1: コンバーター用電源出力端子としてDC15V重畳して給電できます。

C50HS2



●入力切換スイッチ: 別入力の場合※1

CS/BS入力端子

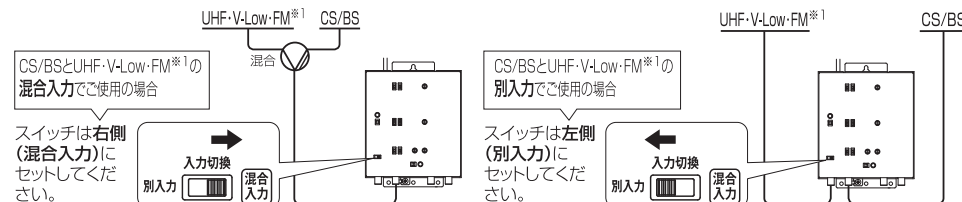
●入力切換スイッチ: 混合入力の場合※1

U-V(CATV)入力端子 CS/BS入力端子

※1: コンバーター用電源出力端子としてDC15V重畳して給電できます。

① 入力切換スイッチの操作

※1(C50HS2): U-V(CATV)



(注) スイッチは「カチッ」となるまで動かしてください。

② 給電スイッチまたはコンバーター電源の操作

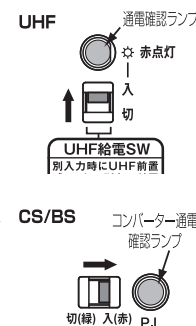
UHF前置ブースターへの給電(給電スイッチ)

- 別入力時にUHF前置ブースターなどに電源(DC15V最大1.5W)を供給する場合のみ、UHF給電スイッチを「入」にしてください。
- UHF前置ブースターを動作させるための重畳電源を供給できる端子は、UHF-V-Low・FM入力端子(C50HS2は、U-V(CATV)入力端子)のみです。

CS/BSアンテナへの給電(コンバーター電源)

- CS/BSコンバーター用電源(DC15V最大6W)を供給する場合は、コンバーター電源スイッチを「入」にしてください。CS/BSコンバーター通電確認ランプ(P.L)が赤色に点灯します。「切」にすると緑色に点灯します。
- 入力端子側でショートしている場合、ランプが消えます。コンバーター電源スイッチを「切」にして入力端子側のショート箇所を取り除いてください。この製品が動作しなくなり故障の原因となります。
- CS/BSコンバーターを動作させるための重畳電源を供給できる端子はCS/BS入力端子のみです。

- 重畳ラインの機器は通電形を使用し、通電端子に接続してください。
- 重畳電源で動作させる場合以外に通電すると故障の原因となりますのでご注意ください。
- 電源の供給はケーブルの接続を確認した後に行なってください。



③ 入力EQスイッチの操作

CS/BSの調整

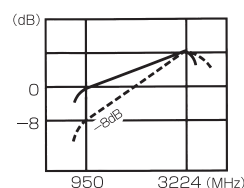
- 3224MHz付近を基準として950MHzの利得を5/10dB減衰させることができます。※スイッチの中間は0dBです。



⑤ TILTボリューム

CS/BSの調整

- CS/BSのTILTボリュームを反時計方向いっぱいに回しきると3224MHz付近を基準にして950MHzの利得が8dB減衰します。

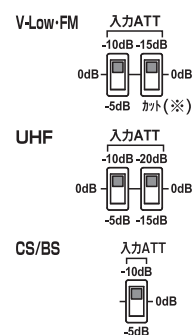


④ 入力ATTスイッチの操作

- 入力ATTスイッチを操作することにより、入力レベルをフラットに下げることができます。
- それでもなお、入力オーバーの時は、別売のアッテネーター(減衰器)を入力端子に挿入してください。

CUF45HS2

- ※V-Low・FMのカットスイッチの操作
V-Low・FMを使用しない場合は、スイッチをカットにしてください。消費電力を低減することができます。



⑥ 利得調整ボリュームの操作

CS/BS、UHF、V-Low・FMの調整 CUF45HS2 CS/BSの調整 C50HS2

後段に接続される機器が過入力にならないよう、利得調整ボリュームを調整してください。利得調整ボリュームは「反時計回り」いっぱいVに回しきった時、利得が最小になります。

〈ご注意〉ボリュームは調整用小形ドライバーで軽く操作してください。強く回すとボリュームが破損する場合があります。



